

抗 EID1 抗体, マウスモノクローナル (# 2)

商品コード	71-190
容量	100 µg
保存	-20°C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマ培養上清から proteinA で精製した
抗原	ヒト EID1 タンパク質のアミノ酸 1-19 を含む合成ペプチド
アイソタイプ	マウス IgG2a κ
反応性	ヒトおよびマウス RBP2。endogenous レベルの RBP2 を検出可能。
特記事項	N/A
アプリケーション	1) ウェスタンブロッティング (~1 µg/ml) 2) ELISA 他の用途は試されてない。
背景	EID1 (EP300 interacting inhibitor of differentiation 1) は 21 kDa のタンパク質で RB1 及び EP300 タンパク質と結合して MYOD1 遺伝子の転写のリプレッサーとして機能する。 EID1 は EP300/CBP のヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性を阻害する。 EID1 は細胞周期の進行の終了と細胞分化に必要な遺伝子の転写制御をカップルさせる機能に関与していると考えられている。
Data Link	UniProtKB Q9Y6B2
文献	1. MacLellan WR <i>et al</i> "A novel Rb- and p300-binding protein inhibits transactivation by MyoD." <i>Mol Cell Biol</i> 20 :8903-8915 (2000) PMID: 11073990 2. Nguyen DX <i>et al</i> "Acetylation regulates the differentiation-specific functions of the retinoblastoma protein." <i>EMBO J</i> 23 : 1609-1618 (2004) PMID: 15044952
関連製品	# 71-185 anti-EID1 antibody, mouse monoclonal (# 26)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 71-190 抗 EID1 抗体、マウスモノクローナル(#2)



図 1 モノクローナル抗体#2 を用いたウエスタンブロッティングによる EID1 タンパク質の検出

コントロールベクターpCMV1 (lane 1)、または EID1 発現ベクターpcDNA3/EID1 (lane 2)をトランスフェクションした MCF7(breast cancer cell line)細胞粗抽出液で抗 EID1 抗体クローン#2 を 1 次抗体として、HRP 結合マウス IgG を 2 次抗体として用いたウエスタンブロッティングを行った。EID1 タンパク質は 21 kDa のタンパク質バンドとして検出された (矢印)。

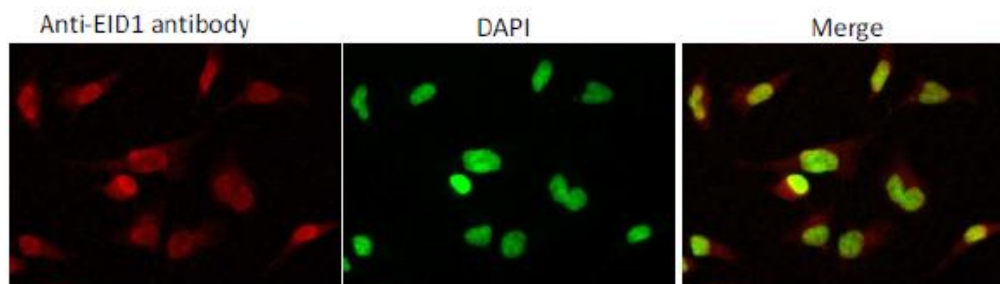


図 2. 抗 EID1 抗体 (#2) を用いた関節免疫蛍光染色による HeLa 細胞中の EID1 タンパク質の同定

細胞は 4% paraformaldehyde で固定し、0.25% Triton X-100 で透過処理をした。抗 EID1 抗体は 1/1,000 希釈で使用。二次抗体は Alex 488 で標識したヤギ抗ウサギ IgG 抗体を 1/1,000 希釈して用いた。DNA は DAPI で染めた。EID1 タンパク質は主として核に局在している。